

—ヒロシマ「原爆の日」—

みなさんおはようございます。きょう8月6日は「とくべつな日」ですので、

臨時に放送で話します。

今から75年前のことですから、みなさんのおじいさんやおばあさんも生まれ

ていなかったかもしれない、昔のことです。そのころ、世界中が「戦争」をし

ていました。日本も、アメリカや中国、イギリス、オランダ、オーストラリア

といった、みなさんもよく知っている国々と長い間、戦争をしていました。

「戦争」ということばは、わかりますか。1・2年生のみなさんには、むつか

しいかもしれませんね。戦争とは、国と国が、敵と味方にわかれで鉄砲や大砲や

爆弾といった武器を使って人々が殺しあう、とても恐ろしい戦いのことです。

この大阪にも、アメリカの飛行機が飛んできて、たくさんの爆弾を落としまし

た。ほとんどの家が焼けて、たくさん的人が死にました。大阪城の天守閣の石

垣がずれるほどはげしい爆発もあって、今でもずれているのを見ることができますよ。

このころは、食べ物も不足していて、人々は、「日本は戦争に負けてしまうかも

しれないな。」と思うようになっていたそうです。実は、8月15日に日本は負

けを認めて戦争が終わりましたので、8月6日は、戦争が終わるほんの9日前

のことだったのです。（戦いが続いている場所はあるようです）

8月6日の朝、アメリカの飛行機が一機、広島市の空に飛んできました。そして、8時15分、世界で初めて「原爆（原子爆弾）」を広島市に落としたのです。原爆は、とても恐ろしい爆弾で、たった一発の爆発で、地面が三千度以上に熱くなり鉄までも溶けてなくなるほどです。爆発の力はすさまじく、台風の千倍以上の強さの熱い風が吹き荒れて家を燃やし、吹き飛ばしました。今の住之江区の広さの半分くらいは建物が無くなってしまったほどです。そして、その年のうちに、住之江区にくらす人の数よりも多い、14万人が死んでしまいました。

原爆が爆発した空には、火山の爆発の雲のように、大きなキノコの形をした雲が、富士山の4倍ほどの高さまで、もくもくとたちのぼりました。雲の写真を見たことがある人もいるのではないですか。

原爆は、どうしてこれほど大きな爆発をしたのでしょうか。ふつうの火薬だけの爆弾ではなく、放射能をもつウランなどの材料を使ってつくられたからです。そして、原爆が恐ろしいのは、生き残った人々が、爆弾の放射能によってガンや白血病などの病気になってしまふことです。さっき話したキノコの形をした雲からは、「黒い雨」と呼ばれた、ねばねばした、黒い色の雨が降りだしました。その雨には放射能があって、雨にぬれた人は、ガンや白血病で苦しめました。75年もたった今でも苦しんでいる人がいます。

こんな恐ろしい原爆が、3日後の8月9日に、長崎市にも落とされました。

長崎市も広島市と同じようにたくさん的人が死にました。

原爆のような恐ろしい爆弾が、人々がくらすまちに落とされたのは、世界中で

日本「ヒロシマ」と「ナガサキ」だけです。

その後、世界中の人々が、ヒロシマやナガサキの被害を聞いて、原爆は人類を

滅ぼす恐ろしい爆弾だということを知りました。

しかし、とても残念なことですが、原爆よりもっと力のある爆弾やミサイルが、

今では世界中にたくさんあるのです。

みなさん、きょう8月6日は、75年前にヒロシマに原爆が落とされた「原爆

の日」です。

ぜひ、原爆のこと、戦争のこと、今の平和のことを考えてください。これで話

を終わります。

(原爆のことを話したり考えたりするときは、わざとカタカナで「ヒロシマ」

「ナガサキ」と書くことが多いです。)